

# 地震に強い『チャコの家』

自然災害があらこちらで起こっている今日この頃ですが、大きな地震もまたいつどこで起きても不思議ではなくお家の倒壊が一番心配なことだと思います。しかし『チャコの家』なら被害を最小限に抑えることができます。東日本大震災時には東北で1,000件以上の『チャコの家』が建っていましたが地震による被害はクロスに亀裂が入ったくらいで建物への重大な損傷は報告されなかったそうです。

そこで今回は、新潟県で発生した地震の資料をもとに詳しくご紹介したいと思います。

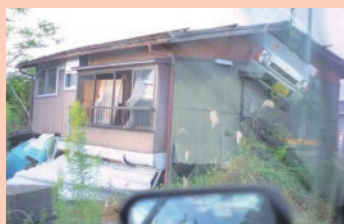
平成16年10月23日、何の前触れも無く、震度6度強の揺れが立て続けに3回も発生し、人々を震撼させた中越地震でした。これらは、その震源地近くの状況です。

## 被害があった住宅

<危険なため車内から撮影>



2階が傾いていました。もう少しで崩壊しそうです。



2階部分が一階を押し潰して平屋に見えました。

## 大きな被害がなかった『チャコの家』



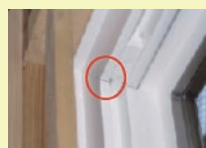
さわなか医院様  
全国初の  
『チャコの家』



院長は普段なら30分で行ける道のりを5時間掛けて到着。周囲はたくさんの被害が出ているなか何も無かったかのように建っていて、廊下の照明器具のカバーにゆがみがあった程度で済んでいたのを確認後、避難所に行かず患者様の診察にあたったそうです。



建築中の  
『チャコの家』



「辺りは地盤沈下していましたが着工直後でパネルを入れた直後だったのでサッシの一部、ヒビ割れしてただけで済みました。パネルが入ってなかったら全壊していたと思います」と加盟店社長のお話でした。



このように『チャコの家』は地震に強いと実証されたとのこと。『チャコの家』で使われているノンフロウウレタン断熱複合パネルの中には断熱材のウレタンが隅々まで充填されています。ウレタンそのものもかなりの強度があるので在来工法にプラスして、さらに丈夫な構造になっています。歪みに対するパネルそのものの強度は、とても高く、断熱材としてグラスウールを使用した場合やカットしたウレタンフォームを壁面内に入れたものと比べ物になりません。それでいながらデザインや間取りもかなり柔軟に対応できると多くの施主様から評価を得ています。これから家を建てたり改築されるお客様の参考になれば幸いです。

## 『チャコの家』にお住いのお客様へ

今回の新型コロナウイルスが終息するまで、換気システムの換気の回転数を時々、<中>から<強>に上げるようにしてください。<強>にすることで<中>の換気量が1.5倍となり省エネ性は劣りますがくしゃみ・せきによる飛沫感染予防になります。それから、ご家族の中に感染の疑いがある場合、一部屋を隔離部屋として使用して頂く場合、その部屋の排気レジスターのカバーを取り外して頂く事でレジスターが全開になり陰圧状態となります。すると、その部屋の汚染空気が他の部屋に漏れずにご家族への感染へのリスクを減らすことができます。以上のことは今回のコロナだけではなくインフルエンザなどの感染なども同じです。まずは体調に気を付けながら家の中にウイルスを持ち込まないよう当分はお気を付け下さい。

